



経済産業省公認

# 全石協 news

## ◎令和 5 年度第 2 回ハイブリッド理事会報告

(11 月 20 日(月) 15:00 ~ 17:00、東京：芝パークホテル)

○ 樹木葬・永代供養墓などに関する組合の取り組みについて

前回の理事会において、組合として我田引水にならないような情報提供を、どのような方法で発信するべきか検討することとなった。検討結果は、下記のとおり。

- ・目的 … お墓についての正しい情報を発信する
- ・対象 … 幅広く（一般消費者と石材店）
- ・確認 … 2024 年 2 月理事会
- ・発行 … 2024 年春彼岸（冊子リリース）
  - ①お墓選びの基礎知識 … 一般墓、樹木葬、納骨堂、永代供養墓、散骨ほか  
※埋葬、埋蔵、収蔵の違い
  - ②お墓の種類 … 期限付き墓地、管理料（維持費）
  - ③墓地の違い（経営主体） … 公営、民間（宗教法人）
  - ④墓じまいとは？ ※改葬について
  - ⑤お墓の選び方

### ◆ 樹木葬についての意見

#### ・橋口理事（株式会社橋口石彫工業）

熊本では、静岡の会社が 1 ヲ所、樹木葬を運営し、第 4 期まで広がっている。ただ、勢いは弱まっている。花壇葬の方があてはまる。現実的にはお墓参りへ行かない。熊本では、一般墓地の区画が小さくなっているが、まだ一般墓が多い。前方後円墳の墓は、高貴なお墓として人気があるのでは。

#### ・佐藤理事（株式会社佐藤石材工業）

仙台には 2 ヲ所。年々、樹木葬が増えている。半分以上は葬儀社が運営。ただし、仙台は霊園の許可がなかなか下りない。既存の霊園や寺院で展開するパターンがほとんど。

#### ・長江監事（株式会社加藤組 石匠あづま家）

樹木葬は定義がない。平成以降に出てきたお墓は定義がない。複数を納骨できる樹木葬が売れている。葬儀社が葬儀の見込み客・アフターのために取り組んでいる。

## ◎祝！令和5年秋の叙勲で、当組合前理事長の太田明氏が「旭日双光章」を受章！

太田明氏は、（一社）全国優良石材店の会の副会長を20年にわたり務められ、また当組合の初代理事長として3期6年にわたって組合を牽引していただきました。長年にわたり、石材業界の発展に寄与したことに対する功績が評価されました。

### ※ 旭日章とは…

社会の様々な分野における功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた人を表彰する場合に、男女に共通して授与される勲章です。明治8年に最初の勲章として制定され、勲章のデザインは、日章を中心に光線（旭光）を配し、鈕（ちゅう。章と綬の間にある飾り）には桐の花葉が用いられています。

## ◎令和5年度石匠位認定試験日程

- ・ 募集期間：令和5年10月2日(月)～令和6年2月29日(木)
- ・ 受験日時：令和6年3月12日(火)9時30分～17時（Zoom）
- ・ 受験費用：50,000円
- ・ 受験内容：4講義受講後、小論文・面接
- ・ 受験場所：オンライン（Zoom）
- ・ 認定料：71,000円（石匠位認定店パネル代含む）

### ○ 受験資格

- (1) 技能検定1級あるいは特級を上回る技能実務経験を有する法人の役付取締役、あるいは個人企業の経営代表者であり、いずれも経営実務経験が8年以上であり、かつ年齢が満30歳以上のもの。
- (2) 石材及び石材製品、それにかかわる法律などの多岐にわたり知識が豊富であり、石材加工及び石種全般の知識のあるもの。
- (3) 現在及び過去において自作製品、もしくは、自社製品が石匠に値すること（実証写真必要）。
- (4) 全国石製品協同組合に所属する組合員であるもの。



石匠位認定店パネル

## ◎「墓地行政に関する調査—公営墓地における無縁墳墓を中心として—」 総務省行政評価局が結果報告書を公表

総務省行政評価局は「墓地行政に関する調査—公営墓地における無縁墳墓を中心として—」の結果報告書を9月13日に公表した。また、同調査の「結果に基づく通知」を、下記のとおり出した（総務省ホームページより）。

### 「墓地行政に関する調査—公営墓地における無縁墳墓を中心として—」の結果（概要）より一部抜粋

- ・墓地は、全国で約87万区域存在し、うち地方公共団体が経営する公営墓地は、約3万区域存在
- ・今回の調査は書面：全市町村〈1,718市町村のうち、1,231市町村が回答〉、実地：88市町村
- ・公営墓地・納骨堂で無縁墳墓等が発生しているのは58.2%（445/765市町村）
- ・無縁墳墓等の発生抑制に重要である縁故者情報を把握している市町村は少数（把握率2割未満が80.7%）

\* \* \*

#### 〈背景〉

人口減少・多死社会の進展や家族観の多様化等に伴い、管理する者がいなくなった無縁墳墓等が増加し、不十分な管理による支障が懸念されています。本調査は、公営墓地における無縁墳墓等の発生状況や、その解消のための課題等を調査しました。

#### 〈調査結果〉

無縁墳墓等の発生抑制には、使用者その他の縁故者に係る情報を把握することが重要となりますが、使用者に係る情報の把握に対し、縁故者に係る情報の把握は進んでいない状況がみられました。その一方で、あらかじめ縁故者の連絡先を把握し、速やかな所在確認につながった例もみられました。

また、無縁墳墓の解消には、無縁改葬が必要となり

ますが、祭祀を承継する者がいないことを断定できず、無縁改葬後の墓石の撤去をためらい、無縁改葬自体も慎重な判断を要するとする例や、墓石の保管場所が確保できないことが今後の無縁改葬を行うに当たっての懸念となっている例がみられました。その一方で、市町村が墓石を占有した時点でその所有権を取得するとの無主物先占の考え方を援用し、墓石を撤去している例もみられました。

このため、厚生労働省に対し、縁故者に係る情報を事前に把握する事例や、無縁改葬後の墓石の取扱いについて保管期間や処分の考え方に係る事例を整理し提供するなど、地方公共団体に対して必要な支援を行うことを要請しました。

\* \* \*

今後、厚労省が地方公共団体に対してどのような支援を行なっていくのか、公営墓地以外の墓地の無縁墳墓対策はどうするのか？ 石材業界にとっても大きな問題であり、今後の動向は注視していきたい。

なお、同報告書の概要、全文は総務省のホームページからダウンロードできる（「総務省、無縁墳墓」で検索を）。

◎総務省 <https://www.soumu.go.jp>

## ◎ 「お墓を購入する上で重視したこと」のアンケート調査

【調査対象】全国 お墓を所有している 40歳代以上、男女

【調査期間】2023年9月1日～9月30日 【調査方法】インターネット調査

【有効サンプル数】227名

- ▷お墓の購入を決める上で重要視されることは、「利便性」「環境」「価格」の順番となった。
- ▷この3項目は、購入した人の約半数の方が重視すると答えている。
- ▷お墓の購入金額については、1位が「100万円以下」、2位が「150万円以下」。

### ■ 「お墓を決める際に重要視したことは？」について（複数回答可）

回答人数227名のうち、最も回答が多かったのが「利便性」で63.4%、次に「環境」で56.8%、3番目に「価格」で49.3%のという結果になった。また、3人に1人の割合で「経営主体（34.4%）」と答えており、「遺骨埋蔵形態」は20.7%であった。

墓所を決める際に重要視したことは？（複数回答）	件数	割合（%）
価格	112	49.3
環境	129	56.8
利便性	144	63.4
遺骨埋蔵形態	47	20.7
経営主体	78	34.4
その他	16	7.0

### ■ 「購入したお墓の金額は？」について（複数回答可）

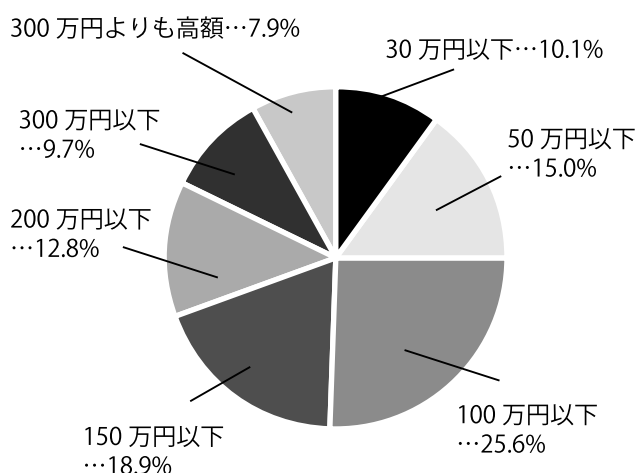
お墓の購入金額については、1位が「100万円以下（25.6%）」、2位が「150万円以下（18.9%）」、3位が「50万円以下（15.0%）」と続く。それ以外の価格帯でも、「30万円以下」が10.1%、「300万円よりも高額」についても7.9%など、幅の広い構成の中でまんべんなく回答が得られている。これは、「お墓」の範囲が、一般墓所から樹木葬・永代供養墓まで多数あることに起因している。

#### 《まとめ》

お墓を購入する上で重要視された「利便性」と「環境」の回答を深掘りすると、「家族の住む場所から行きやすい立地であること」や「実家の近くのお墓」、「子供たちが住んでいる場所の近く」などの墓所へのアクセスに関する回答が見られる。「価格」については、「管理費がかからないこと」などの回答が多く、〈永年にわたって使用するもの〉から維持に〈負担がかからないもの〉への心境の変化がうかがえた。また、お墓の購入金額の調査結果は、ほぼ半数が100万円以下と回答しており、以前に実施した当組合の調査と変化のない結果となった。

以上のことから現代の消費者は、「利便性」、「環境」、「価格」のバランスの取れたお墓を求めているのではないかと考えられます。

購入したお墓の価格（総額）



経済産業省公認 20121004情第5号

全国石製品協同組合

お問い合わせ等は、☎ 03-5733-3776

〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目9番14号5F  
FAX：03-5733-3778 E-mail：info@zenseki.or.jp

<https://zenseki.or.jp/>